

## 【福島へ支援金を送りました。】



手芸サークル。週に一度  
みんなで小物作り

東日本大震災後、栄町の住民活動団体（7 団体）が協力して、毎年、福島県の支援団体「NPO 花見山を守る会」に震災孤児学業生活応援支援金を寄付しています。今年も 3 月 27 日に送りました。

### 【震災孤児支援活動報告】花見山を守る会 福島復興支援活動通信（30 年 8 月号より）

東日本大震災及び福島原発事故の多重災害は多くの方々の生活環境を一転しました。言葉には表せない深い悲しみや苦しみを背負って一步一步進むしかないのが現状です。当会スタッフ一同、そんな皆様のお気持ちを大切に応援して行きたいと切に思い活動しております。

心温まるご支援をくださった皆様、ボランティア活動にご参加いただいた全国の皆様に対してスタッフ一同心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

本当の復興までは長い道のりかもしれませんが、出会いと人間関係を大切に、皆様の絆が深まりますよう又皆様のお身体が健康でありますようお願いしております。今後共、当会をよろしく願いいたします。

代表 高橋 真一

震災から 8 年の月日が過ぎましたが、メディア等や花見山を守る会の広報誌やホームページなどで今の状況を知ることが出来ます。大きなことはできませんが、今後も自分達でできることで少しでも福島復興に寄り添いたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

## みんなで少しずつ力を出し合っ

= 第 3 回サロン交流会開かれる =

3 月 29 日（金）栄町で活動している団体 10 サロンと主催課、支援センター 27 名が参加し 3 回目のサロン交流会が開かれました。今回は成田市新駒井野で子ども食堂を始めたふれあいテラス代表の小川京子さんのお話でした。毎月第 3 土曜日 10 時から 15 時まで開催し、小学生まで無料、中高 100 円、大人 300 円。全員参加型でボランティア組織で運営しています。



小学生のお子さんを持つお母さん、100 歳体操のおばあちゃんや民生委員など多種多様な人たちが力を貸してくれます。今回この子ども食堂で力を貸して下さる 85 歳の男の方はこの活動に関わるようになってとても楽しいと話され、病気で半身不随になられた男の方も自分の役割があつてうれしいと話されていました。



今、栄町でサロンをやっている団体にとっても、いろいろ勉強になりました。今後みんなが集う場所が増えてまちのあちこちに笑い声が広がるといいですね。

= 支援センターからのお知らせ =

次回の支援センターだより「7 月号」は、6 月末に発行予定です。